

「セント・アンドリュース」のトム・モリスコレクション

聖地の“伝説”を モダンに纏う

ゴルフファン憧れの地「セント・アンドリュース・リンクス」をその名に冠したオフィシャルウェアが、立ち上げ以来ブレずに貫くのが伝統と革新の両立。今季を象徴する「トム・モリスコレクション」でもそのDNAは健在だ。

写真○六本木泰彦 スタイリング○村上由祐 ヘアメイク○イケナガハルミ
モデル○バトリシオ 文○藤井順一(編集部)
©セント・アンドリュース
☎03-6748-0705 <https://store.tsigs.com/standrews/>

新をもたらししてきた同地に思いを馳せるアイテムは、伝統的な柄やモチーフを採用しながらも、最新の素材や手



は伝統と近未来感を表現した上、ウェアとしての機能性と上質さも内包する。彼ららしさが満点のアイテムだ。



デジタル処理したオールド・トムスの肖像をインターシャニットと呼ばれる編みで表現した手の込んだ作り。カラーはスコットランド国旗を思わせるブルーとブラックを用意する。

伝説的モチーフを
モダンに昇華する

法を取り入れたモダンなルックが信条。今季のトム・モリスコレクションはそんな彼らを象徴するアイテムだ。全英オープン開催に尽力し、自身も4度の優勝を果たした上、コース設計やグリーンキーピングの確立にも尽力した同地出身のレジエンド、オールド・トム・モリス。彼の肖像画にデジタル処理を施したパターン

「Old but New」は、ゴルフ発祥の地スコットランドセント・アンドリュースの公式ウェアとして誕生した「セント・アンドリュース」が掲げるブランドテーマだ。伝統を重んじながら、近代ゴルフに様々な革新をもたらししてきた同地に思いを馳せるアイテムは、伝統的な柄やモチーフを採用しながらも、最新の素材や手

STYLE1

古き良きモチーフを
現代的にアプローチ

伝説的プレーヤー、オールド・トム・モリスをモチーフにした本コレクションを象徴する一枚がこのニット。前身頃に大胆に配された肖像画はデジタル処理を施すことで、ブランドの出自をモダンに昇華。プリントでなく編み込みというもくオリテイにこだわる同ブランドらしい。ハット¥14,000+税、ニット¥26,000+税、長袖ポロシャツ¥26,000+税、パンツ¥18,000+税、グローブ 参考商品(すべてセント・アンドリュース)



背面のプリントが視線を集めるブルゾン。生地は小さな格子柄を並べた群馬県桐生産のポリエステルジャガードでシワになっても手で馴染ませれば元に戻る形状記憶性を持つ。



リゾーティなモンスター柄をジャカードで表現した軽くて温かみのある風合いのニット。アクリルには毛玉のできにくい、抗ビルタイプのバルキアクリルを使用している。



STYLE.3

同伴者の視線を背中に感じる

サラっとした素材感のライトアウターは秋冬ゴルフに必携のアイテム。ベーシックなだけに差別化が難しいアイテムだが、背面にトム・モリスのプリントを配した“DigitalTrad”な本作なら、同伴者の視線を集めるはず。落ち着いた赤のパンツを合わせて大人のベアリングを楽しみたい。バイザー ¥5,500 + 税、ブルゾン ¥50,000 + 税、パンツ ¥36,000 + 税 (すべてセント・アンドリュース)

STYLE.2

柄×柄でも悪目立ちしない

トム・モリスの肖像画をモノグラム風にプリントしたポロシャツとパンツは、離れて見ると幾何学柄のように見える大人な演出。ジャカードニットに合わせても絶妙なベアリングが楽しめる。パンツはストレッチ性も高い。バイザー ¥5,500 + 税、長袖ポロシャツ ¥15,000 + 税、ニット ¥18,000 + 税、パンツ ¥18,000 + 税、シューズ ¥34,000 + 税 (すべてセント・アンドリュース)